新潟地域広域市町村圏協議会白根ブロック
中ノ口川さわやか文化祭を開催

11月29日～11月30日

新潟地域広域市町村圏協議会、白根ブロックを構成する白根市、月潟村、味方村、中之口村では、日常生活の中で行っている芸術・創作活動などを広域的に発表できる場を提供し、その作品の発表を通し、ブロック内住民が相互に交流できる中ノ口川さわやか文化祭を開催します。

中ノ口川さわやか文化祭は1市3村からそれぞれ4人ずつの実行委員と各市村の担当課長で構成する実行委員会で組織され、運営されています。

本村の実行委員の方々を紹介します。また、金子善次郎さんが、4月22日の総会において、実行委員長に就任されました。

中ノ口川さわやか文化祭の実施について

実行委員長
金子善次郎

今般、新潟地域広域市町村圏協議会の中で、行政機関等の取りはからいで白根ブロックを構成し、白根市、味方村、中之口村、月潟村の各住民の皆さんが、各市村でそれぞれの公民館またはサークル活動等で行っている芸術その他の創作活動を行政の支援のもと、広域的に発表できる会場を各市村が分担提供し、その作品の交流展示を鑑賞することによってブロック内の住民がこの面に対しても相互の交流ができることをねらいとして、本年の11月下旬に「中ノ口川さわやか文化祭」が実施されることになりました。

また、併せて、関係市村長にパネラーをお願いしてのパネルディスカッション、および有名な講師による文化講演会も企画されています。これ等の事業は、一応三ヶ年の継続という形で実施される予定であります。なお詳細につきましては後日各市村の広報等を通じで皆様にお伝えされる予定です。

さて、この四ヶ市村は商業圏として白根を中心にして古くからの交流があり、現在でも盛んに交流が行われております。スポーツ関係でもその通りであります。

しかしながら文化・芸術等の面では今まであまり接触がなく交流の立ち遅れを感じたのは私だけではないと思います。

年々高齢化が進み社会的にいろいろな問題が提起されているところですが、生涯教育の振興の面からも広い幅の視点で充実した人生の再発見をしたいものです。

町部を除いては文化・芸術活動はつつましやかに行われているようです。勿論プロの集団ではないですけれども〝隣は何をする人ぞ〟で終ってしまってはもったいない気がいたします。

この機をとらえて広域四市村のこの面の交流を盛んにして皆様が行われている芸術・創作活動が喜びや張り合いが増幅されることを祈念いたします。小生はからずもこの事業の実行委員長に就任し、重責を負うことになりましたが、陰に陽にご支援ご協力をお願いいたします。

陶芸を通しての交流

実行委員
登石　直

陶芸も発足から6年になり思えば長い様な短い様な年月でした。其の間色々な出来事にあい多くの人と逢い、又多くの人と別れ今会員は15名で制作いたして居ります。発足当時、人様に見せる事の出来ない作品、又「パンク」で跡方も無くなった物等頭の中を走馬燈の如く去来いたしております。その当時と比べ同一人が制作した作品かと目を疑いたくなるような出来と自画自賛いたしております。

また、二年前村当局から施設、大型窯を整備していただき、当初の小型の作品から今では大型の制作に変っております。

過日、村当局から広域（白根市、味方村、月潟村、中之口村）中ノ口川さわやか文化祭を開催するので月潟陶芸クラブも参加してもらいたいとの要望が有り、会員に話をしたところ、ぜひ参加と云う事に決定いたしました。

また、広域文化祭の陶芸の部実行委員に選ばれ4月22日第1回目の実行委員会、5月12日第2回目の実行委員会が白根市で開かれ月潟村から各部委員4名で参加いたしてまいりました。

他市村の陶芸の方と色々お話をいたし、見聞を広めた次第です。陶芸の会員の方も自分の作品が他市村の作品と同一会場に陳列される事は陶芸を制作するに当り意ある事と思います。

村民の方々一人でも多く各会場に行かれ、他市村の作品を見られ御意見を下されば幸せでございます。

さわやか文化事業に希むこと

実行委員
田辺幹子

経済が発展し、個人の所得が増えており豊かな生活を送りたいことは、誰しも思う共通の願いであります。しかし、金品や便利さが溢れていてもそこに何か満たされない物があるとすれば、心の豊かさや知的なもの美しいもの等を求め、満たすことではないでしょうか。

学問的に高尚なものでなければならないと云うことではありません。例えば、公共の施設の窓口に季節の花を飾るとか、写真愛好家の作品を展示するとか、趣味で作る作品を展示する事等、ほんのちょっとした事が地域の住民に美的感覚を与え、村外から訪れた人々にこの村はどこか文化的な匂いがすると注目されるようになれたらいいと思います。

幸い、村内では毎年行われる文化祭で色々の人達との交流はありますが、今年から始まる「さわやか文化事業」は近隣の市村で、陶芸、写真、書道、絵画、手芸等、それぞれの創作品を持ち寄り展示することでふるさとの意識をかきたて、おたがいに人間的に高めあえる出会いの場になると思います。片肘を張らずに参加する事に意義ありの気持ちで、文化祭を通して交流の輪がますます広がることを期待しております。

広域圏事業に触れて

実行委員
小林綾子

私が、広域市町村圏協議会を知ったのは、平成7年8月に行われた「広域施設巡り」に参加してからです。平成8年度も同じ施設巡りに参加させていただき、色々な文化財、記念美術館、行政施設を見学させていただき大変勉強になりました。今年もぜひ参加させていただきたいと考えております。

さて、平成9年度より3ヶ年の予定で中ノ口川さわやか文化祭が実施され、4市村の枠を越えて広域文化祭が開催される事は大変有意義な事と思います。

私は秋津会に所属し、自由に気軽に書を楽しむことを目的としていますが、頭で考えた様に筆が進まず重荷になることもあります。でも、出来上がった時の安堵感は格別なものがあります。

先日、県展を見聞して感性を豊かにと思い新潟市美術館へ足を運びました。白と黒のバランス、明るく力強く、モダンで個性的で美しく品のある作品に感銘してきました。

中ノ口川さわやか文化祭に参加し、他市村の多くのすばらしい作品に触れてみたいと楽しみにしています。

皆様も一緒に参加されてはいかがでしょう。

新潟地域広域市町村圏協議会では平成9年度も色々な事業を行っています

公共施設の相互利用調査

圏域内のスポーツ施設、教育文化施設等の公共施設について、圏域住民の利便性向上と交流促進を図るとともに施設の有効活用を図るため、圏域内市町村間の相互利用のあり方を調査検討します。

'97 にいがた広域工芸品まつりの開催

▲'96 工芸品まつりの様子

圏域関係市町村で連携し、圏域内の伝統工（民）芸品等を展示・販売・製造実演等を行うことにより、広く本圏域をアピールし、圏域の伝統文化の再発見及びこれらの伝統工（民）芸品に係る地場産業振興を図ります。

広域的振興整備に関する県要望等の実施

本圏域内の広域的整備課題に関する事業の推進等、本地域の振興整備を図るための県要望を新潟地域広域市町村圏整備促進協議会と連携して行っています。

新潟広域施設めぐりの実施

圏域住民を対象として、ごみ処理施設など圏域内の広域的施設等の視察を行い、広域圏に対する理解と広域行政についての認識を深めてもらうとともに地域の代表的な施設見学を行うことにより、地域の再発見と地域間の相互理解と交流促進を図ります。

有意義だった施設めぐり

川野正義

私がもっとも関心をひかれたのは亀田焼却場です。吉原場長と近藤主査のお話から、公害防止にとても神経を使って作業していることや、連日搬入される大量のゴミと戦っているご苦労がよくわかりました。私達もゴミの減量とか、資源の再利用など十分考えなければと思います。道端で黒煙をあげてゴミを燃やす光景を見かけますが、その事が大気を汚染し、近所迷惑になっていることを考えて欲しいものです。

北方文化博物館では豪農のくらしに接し、FMにいつスタジオでは、1人で色々な機器を操作しながら放送しているアナウンサー氏に感心し、石油の世界館では、雨あがりの庭園で色づきはじめたモミジに秋を感じました。花とみどりのシンボルゾーンでは、ゆっくりと花木を観賞することが出来ました。関係施設の職員の皆様と各市町村の担当職員の皆様、本当に色々有難うございました。

広域ロードマップ「にいがた圏間録」の発行

圏域住民から本圏域の良さを再認識してもらうと共に、本圏域を圏域内外に広く紹介し、本地域について理解を深めてもらうため「にいがた見聞録」を発行しています。

広域圏だよりの発行

広域行政の推進、構成市町村の主要施策等について相互理解を深めるため、広域圏だよりを発行しています。

※次号以降に、中ノ口川さわやか文化祭の内容をお知らせします。